

平成29年度 第33回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。()の中に該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。

造形活動のねらいは、のびのびと絵を描いたり、ものをつくったりして、生活経験や(①)したことを表現したり、感じたことや考えたことを(②)して表現させるところにねらいがある。子どもの思いに(③)し、受容的な態度で接することによって子どもは(④)を持ち、さらに主体的に素材とふれあいながら表現することを楽しむようになる。

- ア 共感 イ 自信 ウ 想像 エ 過程 オ 工夫
カ 道具

2 次の文は象徴期について述べたものである。()の中に該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(①)を描けるようになり、描いたものに意味づけをしたり、(②)をつけたりするので(③)とも呼ばれる

- ア 錯画期 イ 命名期 ウ 基底線 エ 円 オ 名前

3 次の文は色彩について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 赤, 黄, 灰, 青は有彩色である。
(2) 混ぜ合わせて, さまざまな色を作るもとになる色を原色という。
(3) 色の鮮やかさの度合いを明度という。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	①	②	③	④	①	②	③	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

平成29年度 第34回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。()の中に該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 造形表現は、自発的な()である。
- (2) 幼児の()な興味を育てる基本的な領域である。
- (3) 幼児はのびのびと自由に絵を描いて、表現する()を味わう。
- (4) 幼児はできあがった作品よりも()を楽しんでいる。
- ア 創作的 イ 喜び ウ できばえ エ 活動自体 オ 自己表現
- 2 幼児の描画について、次の問いに答えなさい。
- (1) 描画の発達過程について、()の中に該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- なぐりがき期 → (①) → (②) → (③)
- ア 前図式期 イ 象徴期 ウ 図式期
- (2) 次の文は子どもの描画表現の特徴を説明したものである。その特徴の一般的な名称を下記から選び、記号で答えなさい。
- 「雲や太陽などの無生物にも命があり、心をもっていると考える子ども特有の表現」
- ア カタログ表現 イ レントゲン表現 ウ アニミズム表現 エ 錯画
- 3 次の文は色彩について述べたものである。()の中に該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 光の三原色は混ぜると()が上がる。
- (2) 明度と彩度が組み合わされた色の雰囲気のことを()という。
- ア 色立体 イ 明度 ウ 彩度 エ トーン オ 色相

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)			(2)	(1)	(2)
	①	②	③							
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

平成30年度 第35回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は幼児の造形表現について述べたものである。() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 造形表現は、描画材や身近にある () を使って、色や形で表現することである。
- (2) 造形活動のねらいは、() したことや感じたことなどを工夫して表現させることである。
- (3) 幼児はできあがった作品よりも () を楽しんでいる。
 ア 想像 イ 創作的 ウ できばえ エ 活動自体 オ 素材
- 2 次の文は描画の発達過程と特徴について述べたものである。() に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 象徴期では、「これりんご」「これパパ」などと () を加えるようになってくる。
- (2) なぐりがき期では、偶発的な左右の動きで画面にできる () を楽しむ。
- (3) 図式期には () とよばれる、子ども特有の表現が見られる。
- (4) 前図式期では、人物などを表現するようになり、() を描く。
 ア 頭足人 イ レントゲン画 ウ カタログ表現 エ 線 オ 説明
- 3 次の文は色彩について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 赤、黄、緑など、色みのことを彩度という。
- (2) 補色の関係にある色同士を並べるとお互いを引き立たせる。
- (3) 虹の7色は一般的に赤・橙・黄・緑・青・藍・紫である。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第36回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。(1)~(3)に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

造形表現は、本能的な(1)や好奇心を満足させてくれる活動であり、欲求や(2)のはけ口でもある。また、自分の思いを自分の手によって(3)される喜びを味わうことができる。

ア 達成 イ 探索心 ウ 体験 エ 感情 オ 過程

2 次の文は描画の発達過程と特徴について述べたものである。正しいものには○，誤っているものには×印を記入しなさい。

(1) 図式期では、空と地面との境界線である基底線を描き、その線の上に自分の思いを描くようになる。

(2) 象徴期では、形をしっかりととらえて絵らしくなる。

(3) 前図式期では、自分の知っているものを画面に次々と描き並べるので、錯画期ともいわれる。

(4) なぐりがき期では、意味のある線描きをする。

3 次の文は色彩について述べたものである。()に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 純色に白または黒を混ぜた色を()という。

(2) 色相環で真向かいの位置にある色を()という。

(3) (), 明度, 彩度を色の三要素という。

ア 補色 イ 濁色 ウ 色相 エ 清色 オ 色調

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第37回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

造形は子どもが自分の感じたことや想像したことを(1)や形で表現する活動である。子どもの(2)を高めるためには、身近に素材や用具があることと、子どもの働きかけに応じてくれる(3)の存在が大切である。

ア 表現意欲 イ 自由 ウ 人 エ 色 オ 生活体験

2 次の文は幼児の描画表現の特徴について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 象徴期は命名期とも呼ばれ、描いたものを説明するようになる。
- (2) 展開画やレントゲン画が見られるのは図式期である。
- (3) なぐりがき期は円や線などを組み合わせて描くようになる。
- (4) 前図式期は描画の最も早い時期に表れる。

3 次の文は色彩について述べたものである。(1)~(3)の() に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) () は色相、明度、彩度の3つの属性を持っている。
- (2) 明度と彩度が組み合わされた色の雰囲気のことを() という。
- (3) () の関係にある色同士を並べるとお互いを強く引き立たせあう。

ア 補色 イ 清色 ウ トーン エ 暗清 オ 有彩色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第38回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形活動のねらいについて述べたものである。() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 身近な材料や (①) に進んで働きかけて、その形、色や特徴などから自由に発想して活動する (②) を味あわせる。

(2) 全身的な造形活動を行うことで、造形活動の (②) や喜びを味あわせ、造形活動への興味や (③) を高めるようにする。

ア 関心 イ 失敗 ウ 工夫 エ 楽しさ オ 用具

2 描画の発達段階の特徴について、(1)・(2)に最も関係の深いものをA群・B群から1つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 前図式期 (2) 錯画期

[A群] ア 自分で考えたことを次々と描き並べる。

イ 展開画とよばれる幼児特有の表現がみられる。

ウ アニミズムの傾向があるため太陽や花に目や口を描く。

エ 思いのままの自由な手の動きにより、紙に跡が残ることを楽しむ。

[B群] ア 境界線 イ 頭足人 ウ スクリブル エ 知的リアリズム

3 次の文は色彩について述べたものである。() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 他の色からは作ることができず、さまざまな色を作り出すもとになる色を () という。

(2) 色相環は各色相の () によって表される。

(3) () とは、色相・明度・彩度を規則的に並べた三次元の立体のことである。

ア 原色 イ 色立体 ウ 三属性 エ 暗清 オ 純色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)		(2)	(1)		(2)		(1)	(2)	(3)
	①	②	③	A群	B群	A群	B群			
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和2年度 第39回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 感性とは、()あるものに気づき、感じとることである。
 (2) 造形表現は、自発的な()である。
 (3) 幼児の造形には、並べる・組み合わせる・積むなどの()な活動がある。
 (4) 幼児は心の中を絵に描いたり、ものを作ったりすることで、()を豊かにしていく。

ア 評価 イ 構成的 ウ 自己表現 エ 情操 オ 価値

2 次の文はなぐりがき期について述べたものである。(1)~(3)に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1)を打ち音を楽しむ。思いのままの(2)な手の動きにより線が描かれる。描いた絵は錯画や(3)ともいわれる。

ア スクリブル イ 展開期 ウ 自由 エ 点

3 次の文は色彩について述べたものである。(1)~(3)の空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 画面上で色を塗り重ねることを()という。
 (2) 色相を似た色同士順序よく丸く輪に並べたものが()である。
 (3) 無彩色は色の三属性のうち()だけ持つ。

ア 明度 イ 重色 ウ 色相環 エ 色相 オ 補色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和2年度 第40回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形活動の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

幼児の造形表現は、自分の(1)を表す表出活動から自分の(2)を表す(3)活動へと変わる。

ア 思い イ 感情 ウ 表現 エ 伝達 オ 目的

2 次の表は描画の発達過程について示したものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

時期	名称	別名	特徴
3～5歳頃	前図式期	カタログ期	左右対称に表現する (1) (2)表現
4～8歳頃	(3)	覚えがき期	レントゲン画 (4)

ア 基底線 イ アニミズム ウ 頭足人 エ 象徴期 オ 図式期

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 絵の具を混ぜて色をつくることを()という。

(2) 虹の七色は一般的に赤・()・黄・緑・青・()・紫である。

ア 橙 イ 緑青 ウ 混色 エ 藍 オ 重色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答									
得 点									

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は造形表現のねらいと評価について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

造形活動のねらいは、表現活動を通して（ 1 ）を養うことがあげられ、その指導の際には子どもの発想を大切にして、子どもの（ 2 ）や欲求を生かすことが大切である。従って、造形活動の評価の際は、結果としての作品だけでなくその（ 3 ）を重視することが望ましい。

ア 感動 イ 構成 ウ 創造性 エ 過程

2 幼児の描画表現の特徴について、(1)~(4)の文が正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 象徴期には、円を描けるようになる。
- (2) 3歳頃になると、空と地面との境界線である基底線を描くようになる。
- (3) レントゲン画は前図式期に多く見られる。
- (4) 4歳半頃になると、アニミズムの傾向があるため太陽や花に目や口を描く。

3 次の文は色彩について述べたものである。(1)~(3)の空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 色の三原色は一般的に赤・青・（ ）である。
- (2) 純色に白だけを混ぜた色を（ ）という。
- (3) 赤・橙・緑・黄・青・紫はすべて（ ）である。

ア 緑 イ 明清色 ウ 色相環 エ 黄 オ 有彩色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形活動の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 造形表現は、(①) や関心を持って (②) に取り組める活動である。

(2) 幼児の造形活動は、「感じる・考える・(①)」という行為を多く含んでおり、表現力や (②) などを伸ばす働きがある。

ア 意欲的 イ 興味 ウ 創造性 エ 伝える オ 行動する

2 次の文に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 描いた形に意味をつけるので、意味づけ期ともいう。

(2) 形をしっかりととらえて絵らしくなり、レントゲン表現や展開表現など子ども特有の表現が見られる。

(3) 描いた線は意味をもたず、手の運動によって描かれたものである。

ア 前図式期 イ 象徴期 ウ 図式期 エ なぐりがき期

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 光の三原色は赤・()・青である。

(2) 他の色からは作ることができず、さまざまな色を作り出すもとになる色を () という。

(3) 補色関係にある色どうしを混色すると () になる。

ア 原色 イ 黄 ウ 無彩色 エ 緑 オ 濁色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)		(2)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
	①	②	①	②						
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 幼児の造形には、(①), けずる、掘るなどの破碎的・破壊的な活動と、並べる、(②), 積むなどの構成的な活動がある。

(2) 造形表現は自由で (①) な活動である。また伝達のための表現であり、感情や (②) のはけ口である。

ア 自発的 イ 過程 ウ 気づき エ 切る オ 欲求 カ 組み合わせる

2 (1)から(3)の各時期に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 図式期 (2) 象徴期 (3) なぐりがき期

ア 自由に線を描き、形が残ることを楽しむ。

イ 自分で考えていることを次々に並べて描く。

ウ 空と地面との境界線を描き、その線の上に自分の思いを描くようになる。

エ 描いてから意味づけをする。

オ 目・手・足など左右対称に表現するようになり、頭足人を描く。

3 次の文は色彩について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

(1) 虹の7色は一般的に赤・橙・黄・緑・青・藍・紫である。

(2) 補色関係にある2色を接して並べると、お互いの色の明度が高く見える。

(3) 色の三原色とは、一般的には赤・青・緑である。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)		(2)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
	①	②	①	②						
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現活動の特徴について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 幼児の造形表現は、自分の感情を表す (①) 活動から自分の思いを表す (②) 活動へと変わる。
- (2) 子供の思いに共感し、() な態度で接することによって子供は自信を持つ。
ア 表現 イ 創作的 ウ 工夫 エ 受容的 オ 表出

2 次の文は幼児の描画表現の特徴について述べたものである。正しいものには○, 誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 図式期にはレントゲン画や展開画とよばれる幼児特有の表現がみられる。
- (2) 2歳ころになると、空と地面との境界線を描き、その線の上に自分の思いを描く。
- (3) 前図式期は描いたものに名前をつけるので、命名期ともいわれる。

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 赤と青緑、() と青紫は補色関係にある。
ア 橙 イ 緑 ウ 黄
- (2) 色立体とは、色相、(), 彩度を規則的に並べた三次元の立体のことである。
ア 純度 イ 明度 ウ トーン
- (3) 色相環は各色相の() によって表される。
ア 純色 イ 清色 ウ 有彩色
- (4) 純色に黒だけを混ぜた色を() という。
ア 混色 イ 暗清色 ウ 濁色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3			
	(1)		(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)
	①	②								
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形活動の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

造形表現は、興味や(1)を持って(2)に取り組める活動である。また、やってみないとわからないことにおもしろさがあり、本能的な(3)や好奇心を満足させてくれる。

ア 意欲的 イ 創作的 ウ 関心 エ 探索心

2 次の表は描画の発達過程について示したものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

名称	別名	特徴
(1) 期	カタログ期	頭足人 (2) 表現
図式期	(3) 期	(4) レントゲン画

ア アニミズム イ 覚えがき ウ 象徴 エ 基底線 オ 前図式

3 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 無彩色は色の三属性のうち彩度だけしか持っていない。
- (2) 色の三原色は一般的に赤・青・黄である。
- (3) 色を段階的に変化させる配色方法をトーンという。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形活動のねらいについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

幼児の造形活動は、「感じる・考える・(1)」という行為を多く含んでおり、表現力や(2)などを伸ばす働きがある。また、結果の良し悪しよりも表現する(3)が重要である。

ア 創造性 イ 成果 ウ 過程 エ 行動する

2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 幼児の描画の発達過程は、なぐりがき期→前図式期→象徴期→図式期である。
- (2) 前図式期は描いたものに名前をつけるので、命名期とも言われる。
- (3) 1歳ころになると、アニミズムの傾向があるため、太陽や花に目や口を描く。
- (4) 図式期にはレントゲン画や展開画とよばれる幼児特有の表現が見られる。

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 純色に白または黒を混ぜた色を(1)という。
- (2) (2)の関係にある色同士を並べるとお互い強く引き立たせ合う。
- (3) 画面上で色を塗り重ねることを(3)という。

ア 清色 イ 重色 ウ 濁色 エ 補色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------